

会員の拡大に 頑張ろう!

厚木爆同

【発行】
厚木基地爆音防止期成同盟
発行責任者 石郷岡 忠男
事務所 大和市桜森3-5-3
フロント1F
TEL 046-240-7450
FAX 046-261-5615
bakudou@kanagawa.email.ne.jp

騒音コンターの見直し中止! 基地撤去!

静かで平和な空を取り戻そう

厚木爆同第63回定期代議員総会開催

厚木爆同第63回定期代議員総会は5月13日、大和市渋谷学習センター多目的ホールで開催しました。今回は新役員選出の総会となり、各支部も4つの部会が2つに統合され、会計が2名から1名になるなど、新たな組織体制の出発の総会となりました。総会ではすべての議案を、満場の拍手で承認しました。

はじめに

総会では荻窪幸一書記長が司会。冒頭に4月に行われた統一地方選挙で、厚木爆同推薦議員が当選の報告を行い、高久保副委員長が開会挨拶、石郷岡忠男委員長挨拶と続き、近隣5市長と第五次厚木基地爆音訴訟原告団団長の大波修二さん、社会民主党党首で参議院議員の福島みずほさん、衆議院議員の太ひでしさんからのメッセージを紹介。議長に綾瀬支部の岡徳行

さんを選出。越川好昭理事運営委員長から、代議員55名中出席が31名。委任状22名で、総会が成立していることが報告されました。

議事

第1号議案「2022年度活動報告・活動日程」、第2号議案「2022年度一般会計・特別会計決算報告」「会計監査報告」、第3号議案「2023年度活動方針案」、第4号議案「2023年度一般会計予算案」、第5号議案「役員選出



出席者全員で団結頑張ろう三唱

共に頑張ろう!

厚木爆同委員長 石郷岡 忠男



5年前に米空母艦載機のジェット機部隊が岩国に移転しました。

私たちの長い闘いがこれで終われる。静かな空が返ってくる。誰もがそう思ったことと思います。

ところが、厚木基地の空いたスペースを利用して次から次に、新しい訓練が始まりました。

米軍単独でのPAC3ミサイル部隊の訓練、米本国からのCBRN(生物・化学・放射線・核)訓練、

航空機による吊り下げ訓練、パラシュートによる投下訓練など、どれも今まで厚木基地では行われていない訓練ばかりです。

艦載機のジェット機部隊が移転したにも関わらず、基地機能は逆に強化していつているような気がします。

また、日米の共同訓練も以前より増えたような気がします。それにインド、オーストラリア、カナダも加わり共同訓練を行っています。その訓練に必ずオスプレイが参加しています。そのオスプレイ

が厚木基地を中継点として使用すると宣言しています。事故が起きる可能性が高いオスプレイの拠点化は絶対許せません。

国は今、騒音は縮小したとして、コンター見直しの為の騒音調査を始めています。私達はそれぞれの自治体と協力して、コンターの見直しは時期尚早として中止を求め参ります。

私達の騒音との闘いはまだ終わっていません。

これからも会員の皆様と協力して静かな空が返ってくるまで、運動を強めていかなければならないと心から思います。

よろしくお願いたします。共にガンバリましょう。

されました。

終わりに

総会では最後に「総会決議案」を満場の拍手で採択しました。

「総会決議」では、昨年末に閣議決定された「安保関連3文書」について「戦前の始まり」と指摘。

厚木基地の現状について「岩国基地に空母艦載機が移転した後も年間1万5千回以上の騒音測定回数を記録し、静かになった状況ではありません」「厚木基地でも米軍との合同訓練の拠点として整備点検に使用されたり、今まで厚木基

地で行われていなかった訓練が行われたり、厚木基地所属でない外来機が飛来することが目立ちました」「部品落下や墜落の不安」「有害なフッ素化合物(PFAS)の汚染」もあるなど、爆音以外の被害があることを指摘。

「全国で基地との闘いに取り組む仲間と連携し、爆音の解消を含め、厚木基地の一日も早い撤去をめざし、さまざまな行動をすべての会員の団結をもって取り組む」とし、最後に出席者全員で「団結ガンバロー」を三唱して終了しました。

《2023・2024年度》

厚木爆同本部役員

担当	氏名	所属支部
委員長	石郷岡 忠男	綾瀬
副委員長	高久 保	座間
副委員長	森 謙治	大和中
副委員長	日朝 志郎	海老名
書記長	荻窪 幸一	大和北1
書記次長	齋藤 孝幸	大和中
総務組織部長	大谷 直樹	大和中
調査情宣部長	越川 好昭	綾瀬
会計	瀬野 壽伸	大和南2
会計監査	川村 政枝	綾瀬
会計監査	遠藤 健一	大和北1
特別執行委員	大波 修二	第五次原告団団長
特別執行委員	齋藤 昌民	第五次原告団事務局長
顧問	中川 敦至	大和中

ご支援ありがとうございました 統一自治体議員選挙・推薦候補当選者



神奈川県議会議員
(藤沢市、2期)
脇 れい子



神奈川県議会議員
(海老名市、初)
相原 しほ



大和市議会議員
(10期)
大波 修二



綾瀬市議会議員
(3期)
こしかわ 好昭



藤沢市議会議員
(2期)
谷津 えみ



連続する米軍海兵隊機の訓練に対する抗議と申し入れ

5月17日、厚木爆同ほか3団体は米海軍厚木基地司令官に対して、連続する米軍海兵隊機の訓練に対する抗議と①戦闘攻撃機の訓練を行わないこと②騒音防止協定や飛行訓練についての日米合意を徹底させること③艦載機の訓練はすべて硫黄島で行うこと、などの申し入れを行いました。



連続する訓練に抗議集会

緊急行動ということでも、参加者は25名と少数でしたが、シユプレヒコールを上げて強く抗議、申し入れを行いました。

米軍機は3月末以降は週末あるいは休日にも訓練し、爆音を振りまいていきます。

5月13日には早朝5時台に飛行。住民は突然の爆音に安眠を妨げられ、日常生活が頻発する爆音によって台無しにされました。

今回のような爆音を「やむを得ない」と感じている住民は一人もいません。また、その安全性についても大変危惧しています。

1963年に日米合同委員会で合意された騒音規制措置では、22時から翌朝6時までは飛行が禁止されています。日曜日の飛行訓練は最小限にする、と

いう項目もあります。空母艦載機移転前も、日曜日には飛行は自粛されました。

この主旨は「家庭の団らんの時間を爆音で破壊しない」ということなので、休日とも土曜日と同様に訓練も飛行も行ってはなりません。

座間防衛事務所に申し入れ

続いて午後1時から南関東防衛局座間防衛事務所へ、8人で抗議申し入れに向きました。井草昭事務所長は対応こそ丁寧でしたが、訓練は地位協定の「適切に実施している」と受け止めて「適切に実施している」と抗議し、規制に反した具体的理由を調べて返答すること、今後も理由を説明するよう「しかるべき場所に伝える」ことを確認しました。住民本位の業務遂行と定期的な話し合いを、強く求めました。

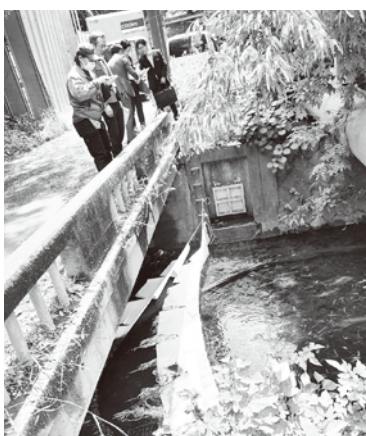
米軍厚木基地から 新たに燃料油が流出

5月24日、米軍厚木基地の燃料タンクから燃料油が約9,084ℓ流出。綾瀬市内を流れる蓼川を汚染する事故が起き、綾瀬市では基地下流の綾瀬市立本蓼川墓園南側の立川橋にオイルフェンスを張り、綾南公園は一時、親水公園を立入禁止にしました。

県と綾瀬市は米軍厚木基地司令官に対して油の回収及び流出防止措置の実施、原因究明と再発防止、情報提供を要請しました。

米軍厚木基地では昨年9月格納庫で、発がん性が指摘されている有機フッ素化合物「PFOs」を含む泡消火剤が放出される事故があり、基地内を流れる蓼川に流出。今回と同じ立川橋で国の指針値の3.6倍の濃度の有機フッ素化合物が検出され、国と県市は10月と12月、立ち入り調査を実施し、再発防止を求めたばかりです。

昨年の泡消火剤流出に続き今回の燃料油流出で、米軍厚木基地は爆音だけでなく生活に身近な河川を汚染する有害なものということがあります。明らかになってきました。今回も立ち入り調査を行って、日本側が原因を究明し、再発防止対策を強制させることが必要です。



立川橋ではオイルフェンスが設置された

地位協定の抜本改定が必要です。住民の安全を守るために、厚木基地の一日も早い返還を求めます。

週末・休日に爆音ふりまき訓練

厚木基地では最近、米軍機が週末や休日に訓練して爆音を振りまき、燃料の流出事故も起こっています。

爆音の解消だけでなく、基地撤去が急がれます。

3月31日(金)～4月2日(土) 米軍海兵隊機が訓練。

4月19日(水) 20日(木) F A 18 艦載機1機が飛来、帰還。

4月21日(金) 22日の基地開放日の展示航空機が多数飛来。

4月22日(土) 厚木基地開放日・日米親善祭り開催。

4月23日(日) 日米親善祭りで見学された海軍機が離陸。

4月28日(金) 艦載機C-2A輸送機ら燃料油が流出。

が飛来。

4月28日(金)～29日(休日・土)、5月5日～7日(すべて休日) F A 18 米軍海兵隊機2機が飛来。

5月7日(日) F 35 B 戦闘機2機が飛来。

5月8日(月) F A 18 米軍海兵隊機1機が飛来。

5月10日(水)～13日(土) 海兵隊機4機が飛来。

5月13日(土) 未明にジェット機の大爆音。ホーカー・ハンター1機飛来。

5月17日(水) 米空軍C-17輸送機1機が飛来。

5月24日(水) 基地内の燃料タンクから燃料油が流出。

爆音がうるさいときは、苦情と抗議の電話をかけよう!

違法な航空機爆音を解消させるため、特に自衛隊ジェット機 P-1 哨戒機の旋回飛行訓練による爆音被害に、苦情と抗議の電話をかけましょう。

苦情の電話をかけよう

- 大和市 基地対策課 046-260-5310
- 綾瀬市 基地政策課 0467-70-5604
- 海老名市 企画財政課 046-235-4634
- 座間市 総合政策課基地政策係 046-252-8307
- 相模原市 基地対策課 042-769-8207
- 藤沢市 危機管理課 0466-50-8381
- 町田市 企画政策課 042-724-2103
- 神奈川県 基地対策課 045-210-3375

抗議の電話をかけよう

- 海上自衛隊厚木基地 0467-78-8611
- 座間防衛事務所 046-261-4332
- 南関東防衛局 045-211-7129
- 南関東防衛局 (夜間・休日) 045-211-7386
- 米海軍厚木基地 0467-78-2664

